

Julabo Case Study

41

JULABO PRESTO® W92tt

100リットルのガラス反応容器を用いて、
+20°Cでの温度安定性試験を実施。



目的

100L ガラス反応容器で JULABO PRESTO®W92tt の温度安定性の試験を実施いたしました。W92tt は 2.0 m の金属チューブ 2 本を介して反応容器に接続されています。

W92tt は設定温度+20°Cでセットされています。

環境

室温	+20°C
湿度	45%
電圧	3 × 400 V / 50 H z

テスト条件

製品型式	JULABO PRESTO®W92tt
冷却能力	+20 ° C 19.0kW 0 ° C 15.5kW -20 ° C 9.5kW
ヒーター能力	36 kW
帯域制限	なし
吐出圧	0.45 bar
循環液	JULABO Thermal HL80
反応容器	100L ガラス製反応容器 (Buchiglas社製) 内部を JULABO Thermal HL80 100L で満たす
温度制御	外部制御(ICC)



テスト結果

次ページのグラフを参照してください。

W92tt は+20°Cまで反応容器を加温します。+20°Cの温度に達した後、反応容器内部の温度は最大±0.01K 変動しました。

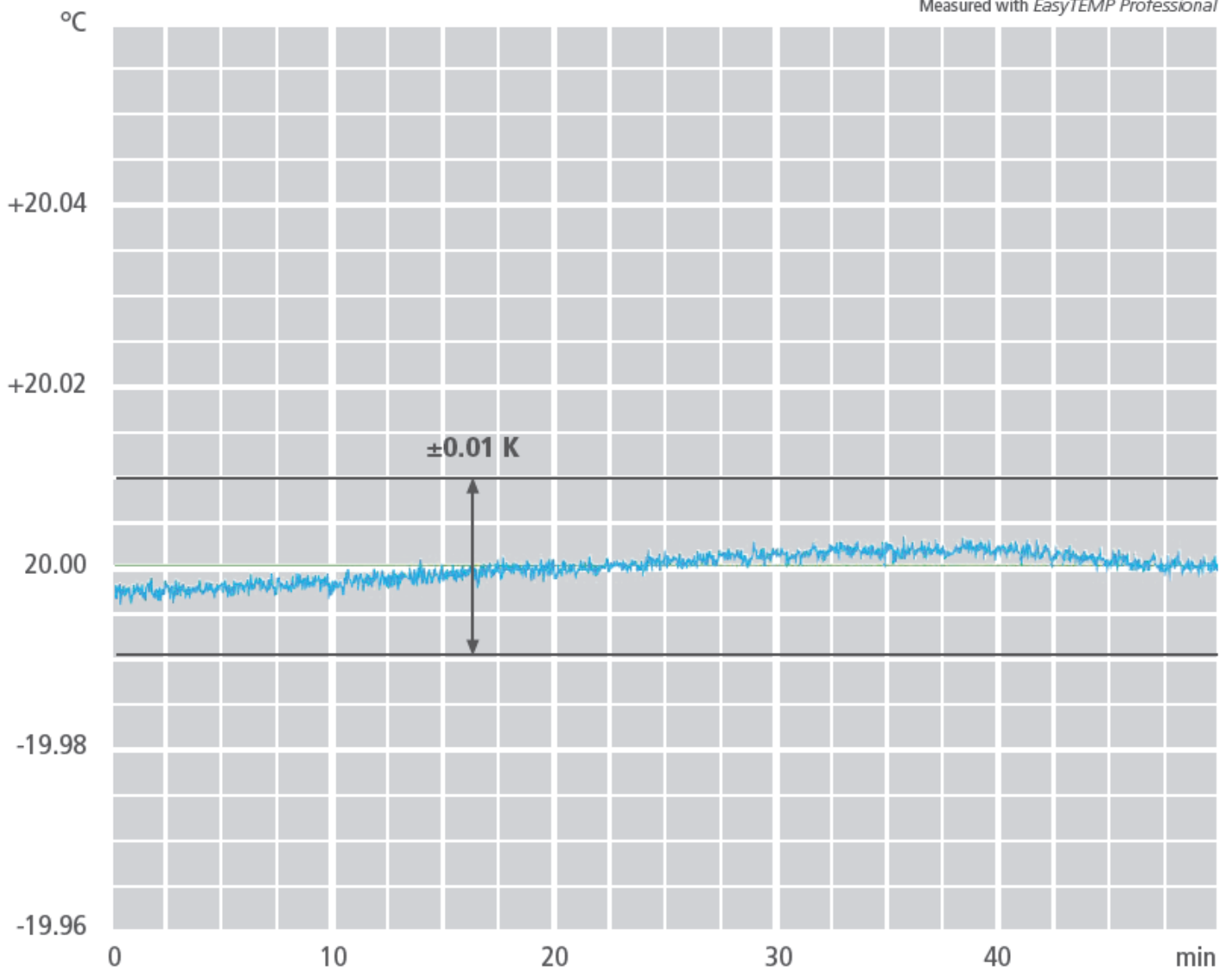
特徴

PTFE コーティングされた
堅牢な Pt100 センサーが
使用可能です。



www.julabo.de

Julabo
THE TEMPERATURE CONTROL COMPANY



— Setpoint

設定温度

— Temperature in reactor's interior

反応容器の内部温度

特徴

吐出圧力を任意の数値にて制御します。プレストでは希望する圧力にて設定することが可能です。



特徴

プレストではイーサネットインターフェースを使ってすべての操作へアクセスする機能を有しています。

